

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	公害対策事務管理事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策・放射能対策課			
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	染谷 忠美			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	生活環境の保全を図る。
事業内容	公害対策事業に係る事務管理を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	公害問題の苦情に対する処理、指導及びパトロールを行う上での適切な指導をし、事業の円滑な推進を図る。 公害の種類、内容が低周波や悪臭など年々複雑多岐に渡っている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・公害測定に係る様々な研修や講習に参加し、適切な知識や技能の習得を図っている。		
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,757,260	4,130,384	741,743				
事業費(b)(円)		25,860	64,184	55,243				
うち一般財源		25,860	64,184	55,243				
職員給与費(c)(円)		3,731,400	4,066,200	686,500				
人役・職員(人)		0.54	0.54	0.10				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	事務改善を行い経費の削減を図る。	③取組の課題	事務改善。
②今年度(H28)に実施した取組	事業の必要性や効率性について検証を行った。予算執行にあたっては必要な研修等への参加とし経費の削減に努めた。	④今後の改善計画	必要とする技能等の習得への参加を精査し事務改善による経費の削減を図る。